

ヒューリックリート投資法人
第14期（2021年2月期）決算説明会 質疑応答（要旨）

開催日：2021年4月15日

決算説明会の質疑応答では1名の質問者から1問の質問がありました。

質問事項	回答内容
<p>内部留保の用途は新型コロナウイルスへの対応に限定されるのか。</p> <p>また、今後も内部留保を行うことはあり得るのか。</p>	<p>第14期（2021年2月期）は、2020年10月14日に公表した業績予想において新型コロナウイルスの影響を保守的に想定していたものの、当該期に実績として顕在化しなかった想定もあり、これらは今後も潜在的なリスクとして継続しているような状況である。（このような潜在的なリスクに対して、）2021年4月14日に公表した業績予想においても、保守的な見込みを行うという考え方はあったものの、実態が保守的な想定から乖離してしまう可能性があったことから、2020年10月14日に公表した業績予想に対する上振れ部分の一部について、今後の新型コロナウイルスによるマイナス影響への対応として、分配金の安定性を確保するために内部留保を行った。</p> <p>したがって、今後の内部留保の活用方法としては、新型コロナウイルスへの対応ということにはなるものの、現状において想定されるマイナス影響については、少なからず新型コロナウイルスが関係しているものと認識しており、今後、業績予想における想定を超えてマイナスの影響が生じることがあれば、内部留保を活用していきたいと考えている。</p> <p>また、今回行う内部留保については、コロナ禍における特別な対応であると考えており、現時点において、平時に行うことは想定していない。</p>

- ・本資料には、本投資法人に関する予想、見通し、目標、計画等を含む、将来に関する回答が含まれています。これら将来予想に関する回答は、本決算説明会開催時点において入手可能な情報に基づく本投資法人および本資産運用会社の見解または判断等であり、また一定の主観的な仮定を前提としたものであって、将来の業績に影響を与える既知または未知のリスクと不確実な要因が内在し、これらの要因による影響をうけるおそれがあります。したがって、記述された内容が将来実現するとの保証はなく、また、実際の結果と大きく異なる可能性があります。
- ・本資料は、本投資法人の決算説明会の質疑応答の要旨に関する資料であって、有価証券、金融商品または取引についての投資の募集、勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。投資口または投資法人債のご購入にあたっては、各証券会社にお問い合わせください。また、投資に関する決定は、ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

本資産運用会社：ヒューリックリートマネジメント株式会社